

新潟医療生活協同組合機関紙

新潟医療生活協 423

発行責任者
猪股成美
毎月1日発行(月刊)
定価20円
機関紙「新潟医療生活協」の
購読料は出資金に含まれる
ものとする。

新潟医療生活協同組合 〒950-0891新潟市東区上木戸5丁目2番1号 TEL.274-7139

2012年3月1日【第423号】

<http://www.kido-hp.com>



石山総支部 3月も拡大行動がんばります！

37年つちかっただつながらを生かしきり 年間目標達成を目指し奮闘しよう！

昭和51年5月6日、病床数88床にて上木戸に病院開設。
ここから新潟医療生活協の「安心して産み育て老いる
まちづくり」が始まりました。

37年という長い時間をかけて、平成23年7月1日、
病床数312床、竹尾に新築移転。

新潟医療生活協の歴史の節目となる今年度も残すところ
あと1か月。

協同の力で目標を達成し、締めくくりましょう。

医療福祉生協連の情報誌comcomに
「親松排水機場」が紹介されました



医療福祉生協のある
まち①

親松排水機場

新潟医療生活協

新潟市の中心部は日本海の平均潮位以下の土地が約3分の2を占め、その潮位に左右される低湿地帯であったことから「芦沼」「地図にない湖」と呼ばれていました。初代の親松排水機場は1968年に完成し、排水改良や農業基盤の整備がおこなわれたため、新潟市は水稲・野菜・果物・花卉などを栽培する緑豊かな田園地帯として飛躍的な進展を遂げました。2008年に新しく稼働した親松排水機場は25mプールを6秒でカラにする能力を持っています。新潟の広大な土地と私たちの生活は、24時間一時も休まず稼働し続ける親松排水機場によって支えられています。

■想いは叶えるもの

地域と共に歩み、多彩にひろがった
医療生協活動。

診療所を持つ石山総支部で大きな
発展があり、東明・江南地域に新しい
支部が誕生し、機関紙の配布が始まり
ました。

石山総支部の中でも線路を挟み、診療所・病院からは少し距離のある地域での支部の誕生は、5年間毎月「たゆまなく歩き、伝え続けてきた」訪問行動の成果です。

この行動は地域の人々の心を動か
し、支部の活発な活動へと繋がっていま
す(石山総支部の活動は医療福祉生
協連の情報誌comcom3月号・
協同のある風景に紹介されました)。

■力を合わせて

医療生協の運動は歩み続けます。
「住民の意向を反映させた、住民主体
の医療と福祉の地域づくり」「病院の
内容をさらに充実し、発展させるには
病院の主人公である組合員を増員さ
せること」

医療生協の創設に携わってきた先
駆者の想いをつなぐためにも、寒さが
厳しいこの冬もたくさんさんの支部が医
療生協を強く大きくしようと訪問活
動を行っています。

目標達成のためにも、この3月はさ
らなる組織強化にご協力をお願いし
ます。

芦沼

▼良寛記念館に立ち寄る。
「道白雲」この文字が一番
印象に残った。意味は、「あ
るがままの自分を恥じずに
堂々と生きる」。良寛の思
いと聞く▼ところで、良寛
さんの一人暮らし。この一
人暮らし世帯が、2015
年には、約570万世帯
(約33%)、25年には680
万世帯(約37%)になると
厚労省は推計する▼これ
は団塊の世代全体の人数
と同じ。現在の少子高齢化
や未婚・離婚の増加で、さ
らに増加することが予測
される▼こうしたなか、「エ
アコンの掃除」や「家具を
動かしたい」などの簡単な
作業を請け負う会社が伸
びている。料金はエアコン
掃除が一万三千円、家具
移動はスタッフ二人体制で
八万四千円からなど▼そ
れでも、「年をとると一人で
はできないことが多くなる
のでありがたい」と、高齢者
からの依頼がひっきりなし
に舞い込むらしい▼ささ
えあう力がなくなればビジ
ネスになる。複雑な気持ち
だ▼良寛さんが慕われる
のは、自分の胸のうちを包
み隠さずさらけ出すから
だという▼大いに腹を割り、
生協の「便利屋」について考
えてみないか。(K・S)

Information

職員募集

《木戸病院》看護師 助産師 薬剤師(正職・パート)

《石山訪問介護センター》訪問介護員(嘱託)

・問い合わせ 総務課 桑野

・電話 273-2151(内線3122)

新潟医療生協の「なんでも相談」

日ごろ、困っていることや悩み、医療、福祉、保険など、なんでも相談してください。面談や電話、手紙でも結構です。

秘密は固く守られます。

・相談担当 飯塚孝子(新潟市議会議員)

4月14日(土) 午前10時～12時

3月10日(土) 午前10時～12時

渡辺有子(新潟市議会議員)

3月24日(土) 午前10時～12時

4月28日(土) 午前10時～12時

・場所 木戸病院 1階相談室

・住所 新潟市東区竹尾4丁目13番3号

・電話 025-273-2151(代表)

東日本大震災支援募金にご協力をお願いします ～放射線測定器を送ります～

支援金振込先 第四銀行 木戸支店

普通預金 1401980

新潟医療生活協同組合 震災義援金 理事長 猪股成美

お知らせ

ボランティア講座開催のご案内

新潟医療生協では、木戸病院ボランティア(院内案内・病院美化など)、ほほえみの里きど介助ボランティア(利用者の方のお話し相手・お茶出し・散歩・外出・入浴時送迎・髪の乾燥など)、チョッキン隊(綿布を切る)、レクリエーションボランティア(囲碁・将棋・マージャン・折り紙・本の朗読など)を募集しています。

これから何かボランティアを始めたいとお考えの方のご参加をお待ちしています。

・日時 平成24年5月25日(金)

午前9時受付開始 9時20分～15時まで

・会場 ほほえみの里きど 1階会議室

・参加費 1,000円(テキスト代・昼食代など)

・講座内容 1. ボランティアって何・医療生協とボランティア
2. 高齢者の身体と心の特徴
3. 車いすに乗ってみよう・車いすの押し方
4. 先輩ボランティア体験発表
5. 懇談会 私の希望するボランティア活動
※講師は「ほほえみの里きど」職員が担当します。

・申し込み・問い合わせ

生協組織部 TEL.274-7139

ほほえみの里きど(担当:藤井・佐藤) TEL.275-1121

高齢者の服薬上の注意

石山診療所 所長

多田 則義



人生の先輩に対して高齢者と一括りにするのは非常に失礼とは思いますが、加齢とともに若い人とは異なる部分が出てきます。服薬は治療の上で重要であり、注意点をいくつか挙げてみたいと思います。

高齢者は複数の病気、特に慢性疾患にかかる可能性が高いことから、若い人より薬を多く服用する傾向があります。加えて、高齢者は若い人の2倍以上も薬の副作用を起こしやすくなっています。副作用を起こすと重症になりやすく、生活の質(QOL)にも支障を来す

ようになり、医療機関の受診や入院が必要な事態になりがちです。

年齢を重ねるにつれて、体内の水分の量が減少し、代わりに脂肪組織の量が増えてきます。そのため高齢者では、薬を希釈する水分が不足しがちで、水性の薬は濃度が濃くなります。そして薬を貯蔵する脂肪組織が比較的多いため、脂溶性の薬は体内に多く蓄積するようになりやすくなります。また、年齢を重ねるにつれて、腎臓は薬を尿中にうまく排泄できなくなり、肝臓は薬を尿中にうまく排泄できなくなり、肝臓が薬を代謝する能力も衰えます。こうした加齢に伴う変化のた

め、多くの薬は若い人に比べて高齢者の体内にとどまる時間が長くなり、薬の作用を長びかせ、副作用のリスクを高めます。これらの理由から、高齢者ではある種の薬について、1回の用量を減らすか、1日量を減らす必要があります。また、より安全な他の薬に変更することもよくあります。

高齢者は薬によるさまざまな作用に敏感です。また薬は、治療対象疾患以外の病気との相互作用、薬と別の薬との相互作用、薬と食品との相互作用、薬とサプリメントやハーブとの相互作用などによる副作用を引き起こすことがあります。高齢者は病気にかかりやすく、若い人よりもたくさんの薬を服用するので、薬と病気、薬と薬の相互作用を起こす可能性もそれだけ高くなりがちです。

医師の指示に従わないで薬を服用す

服薬の指示を守れなかった理由

- ・薬を服用するのを忘れた。
- ・指示を理解していなかったり、指示を誤って解釈していた。
- ・副作用の経験があるため(治療が病気を悪化させるような気がした)。
- ・病気を否定するため(診断された病気やその重大さを忘れたかった)。
- ・薬が役立つことを信じていなかった。
- ・病気がもう十分に治療されたと思っした。
- ・(熱が下がったので感染症は完治したと考えるなど)。
- ・有害な結果や薬への依存に対する恐れ。
- ・費用が心配だった。
- ・良くなることへの無関心(無気力)。
- ・服薬の妨げとなる障害があった。
- ・錠剤やカプセルを飲みこめない、容器をうまく開けられない、治療に不都合があると感じる、薬を入手できないなど。



るのは危険です(別表参照)。高齢者だけが指示どおりに薬を服用しないわけではありませんが、高齢者の40%は指示を守っていないというデータがあります。薬をまったく服用しない場合はもちろん、服用する量が少なすぎたり多すぎたり

した場合にも問題が起こります。副作用が起こったからという理由で、指示よりも量を減らすのは理にかなっていないかもしれません、やはり薬の服用のしかたを変える場合はあらかじめ医師に相談すべきです。

病児デイサービス(病児保育施設)の 名前が決定!!「きどっこ」



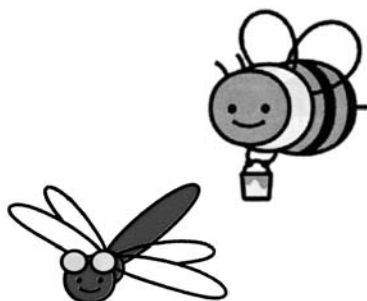
「病児デイサービスセンター建設現場」



お子さんが病気にかったとき「あと1日2日の安静が必要で付き添ってあげたいけど、もう仕事を休むことができない」「子どもの体調が良くないが、どうしても外出しなければならぬい」という経験はありませんか?「病児デイサービスセンター」は、病気や回復期などにあるお子さんを仕事などの都合によって家庭で保育できない保

護者に代わり、一時的にお預かりする施設です。市内の特定医療機関に併設された施設で、保育士や看護師が医師と連携を図っているため安心です。新潟医療生活協では平成24年4月開設を目指しています。

利用方法などにつきましては、決まり次第お知らせいたします。



4月開設を目指し 建設が進んでいます。

あわせて生協組織部も旧健診センターより 病児保育施設1階に移転します。

組合員のみなさま

新潟医療生活協同組合

木戸病院は
2012年9月
病院機能評価Ver.6を
受審いたします

理 念

協同互助の精神にもとづき組合員、
地域住民の医療・保健・衛生・福祉の
向上を図る

基本方針

- ① 生涯にわたる健康管理活動の支援
- ② 生活習慣病の予防と早期発見
- ③ 「患者の権利章典」の豊かな実践
- ④ 診療情報の開示
- ⑤ 全人的医療を指向

病院機能評価とは、公益財団法人 日本医療機能評価機構が実施している第三者評価事業です。よりよい病院づくりのため今回受審いたします。みなさまのご協力を心よりお願い申し上げます。

鳥屋野総支部

総支部長 早川一丸

きれいで立派な新病院のオープンでとても喜ばしい年でした。しかし、行事も多く、何かと忙しい年でもありました。2012年度は年々増えている人間ドックの受診をさらに増やして行けたらと思います。少しでも健康診断が大切なんだという事が多くの方に伝わるような年にして行きたいと思っています。

山ノ下総支部

総支部長 山田芳龍

山ノ下では班会が2つ行われています。そのうち一つはお寺を会場に長く続いています。もう一つの班も集会所に集まり、年に1度は食事を作り班会でお昼を食べています。山ノ下の地域も高齢化が進み、一人暮らしの高齢者が多くなっています。班会がこれからも長く続き、みんなが集い、元気にくらし続けていくことを願います。

両川総支部

総支部長 豊岡豊郎

東日本大震災、未曾有の大震災が起こった2011年でしたが、木戸病院が新しい形でスタートした記念すべき年でもありました。2012年は震災の復興も続けなければならないし、もっと班会も増やしたいですね。お茶の間も増やし、一人ぼっちを作らないようにして、みんなが安心して暮らせるように頑張りたいですね。体と相談しながら楽しく活動が続けて行きたいと思っています。

沼垂総支部

総支部長 野瀬広義

2011年は素晴らしい病院が出来て大変うれしく思っています。昨年は忙しくもあり、改めて振り返るととても大変な年でした。2012年は総支部の活動にかかわる人が増えるように頑張っていきたいと思っています。楽しく活動が広がると良いです。特に、総支部として認知症について学び、認知症サポーター養成講座を開催したいと思っています。



総支部からのメッセージ

新しい風が吹く「メディカルフィットネス」

Vol.7

メディカルフィットネス「ウィズ」

木戸病院の新しい運動施設として誕生したメディカルフィットネス「ウィズ」昨日より今日、今日より明日が充実しているような毎日にするために・・・と願いを込めてつくられました。

スタジオとマシーンルームを完備しています。マシーンルームでは個人の体に合わせた運動プログラムがコンピュータでプログラミングされ、健康管理・記録管理が行われています。また、スタジオではエアロビクスや骨盤歪み矯正体操など多彩なプログラムが行われています。

トレーニングに来ていた70代男性にお聞きしました！

▼ここへ来るきっかけは何ですか？

「木戸病院に通院しているついでかな？腰と膝も良くなってね。」

▼トレーニングが続いているわけは何ですか？

「健康運動指導士の方にいろいろ教えてもらえるから楽しいんですよ。他の施設も利用したけど1人では長続きしなかったね。ちよっぴりおつかない時



私はマシンでトレーニング。母ちゃんはスタジオで踊っているよ！

申込・連絡先
コープ健康づくりクラブ with(ウィズ)
TEL.278-3876



スタジオでソフトエアロビクス

もあるけど、彼女に会うのも楽しみのひとつだね。」

▼生活や体で変化はありましたか？

「午前中に用事を済ませ、午後は昼寝をすることが多かったけど、今は午後なるべくここにきているよ。不思議と夜は良く眠れるようになったね！水分の補給を覚えてもらい、体調も良いね。」

木戸病院のメディカルフィットネスは幅広い年齢の方にご利用いただいております。さあ春に向かってあなたも一緒に運動してみませんか？

ご参加お待ちしております!!

フラダンス興味のある方 大募集! フラダンスサークルを 作りませんか?

フラダンスはハワイの伝統的な民族舞踊です。
フラを踊ってみませんか。表現力を養い、
自分の伝えたい気持ちを心から表現し、
楽しく健康づくりを行いましょう。

- 会 場 メディカルフィットネス内スタジオ
- 開催日 昼の部・夜の部を考えています
- 参加費 サークル会費(未定)
- 申込締切 3月30日

フラダンスサークル準備会まで
お問い合わせください
生協組織部 274-7139



健康づくり!仲間づくり!

Vol.16

毎月班会の紹介をさせていただきます!

上嘉瀬「お茶の間」

毎月第4木曜日、上嘉瀬の集会所を会場に「お茶の間」班会が行われています。参加者はおおむね20名、3分の1が男性です。血圧測定を楽しみにしてくださっている方からは、「ひと月無事に変わず過ごせた褒めたいだね。楽しみにしているよ」と言われ、心があたたかくなる思いです。メニューは多彩で、近くの薬局から薬剤師の方に来ていただいたり、地域包括支援センターの方がお

話をしたりと、たくさんの専門の方が携わっています。この地域担当の民生員の方が毎月来てくださるのもこの班の特徴とも言えるのではないのでしょうか。相談や近況報告、さらに安否確認の場ともなっています。

班会は常に笑いがあり、仲良く楽しく行われています。班会が始まって1年と数か月が経ちました。これからも末永く続いていくことを願っています。



古民家を集会所として使い楽しく過ごしています。

新潟医療生活協同組合員現状 (平成24年1月31日現在)
組合員数 38,207名 出資金総額 17億3,815万円

〈事業所〉

木戸病院
健診センター
木戸クリニック
石山診療所

TEL.273-2151
TEL.270-1831
TEL.274-7960
TEL.276-5111

石山訪問介護ステーション
訪問介護センターすみれ
ケアプラン石山
ほほえみの里きど

TEL.276-7450
TEL.276-5150
TEL.276-6840
TEL.275-1121